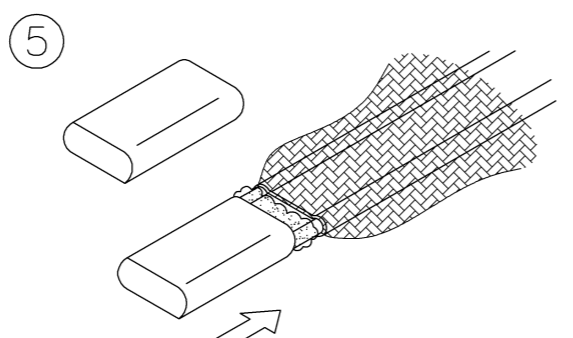
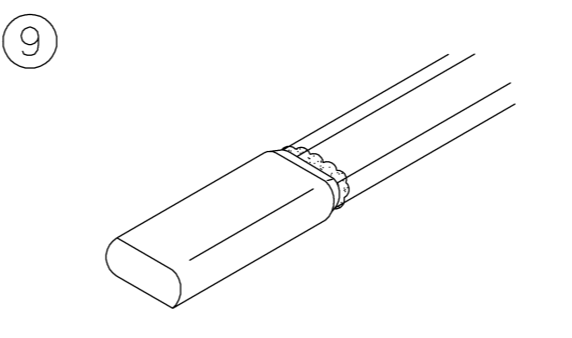


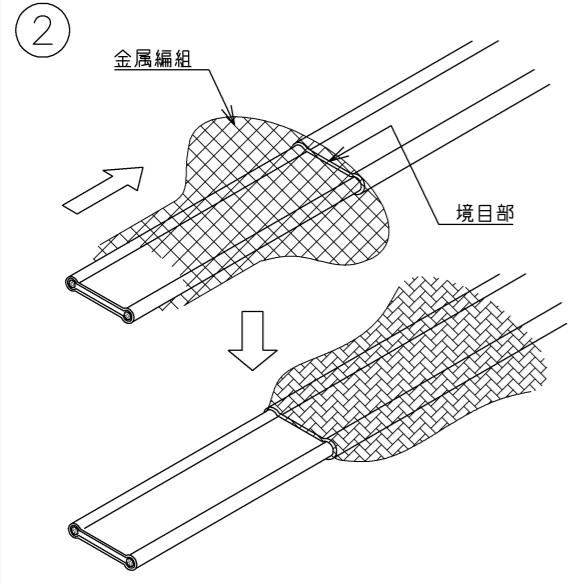
① ジャケット被覆
65mm
Fヒータを所要の長さに切断します。
端末から65mmジャケット被覆をカッター等で剥く。
(編組やヒータに傷をつけない様に注意して下さい。)



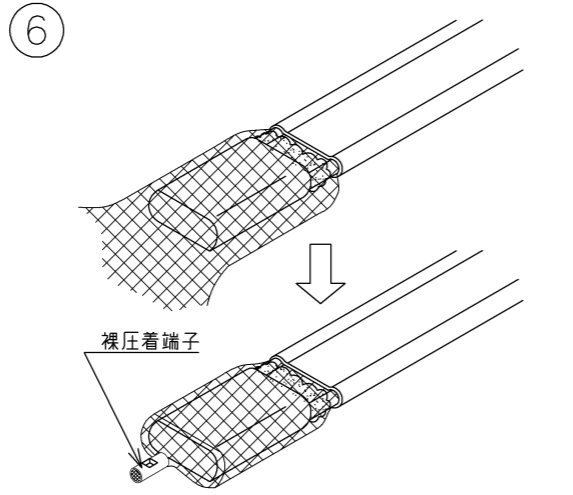
⑤ 気泡が残らない様注意して、小型エンドキャップを
ゆっくりと被せます。



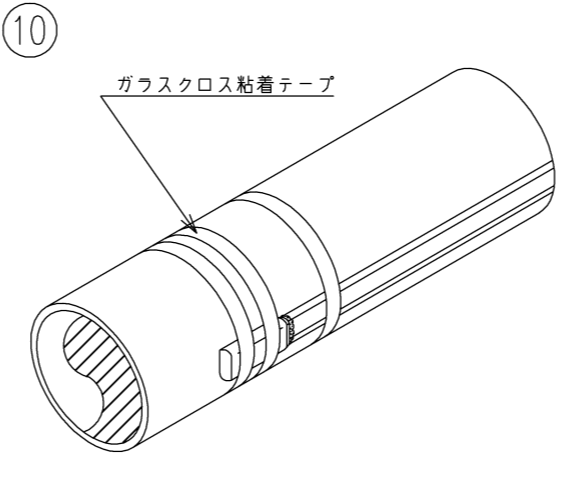
⑨ 気泡が残らない様注意して、大型エンドキャップを
ゆっくりと被せます。



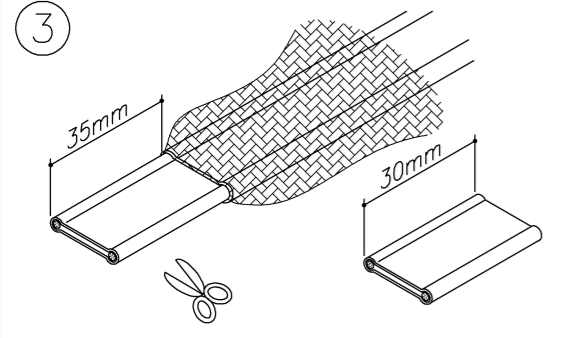
② 金属編組
境目部
編組をジャケット被覆の境目部方向に押し戻し、ジャ
ケット被覆の上に引き戻します。



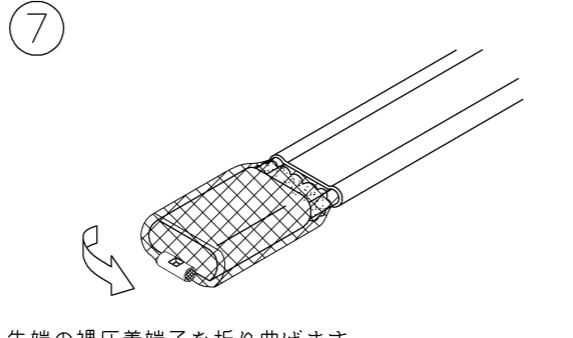
⑥ 編組をたるみの無い様元の位置へ戻しエンドキャップの
上を覆う様にし、編組末端部を束ね裸圧着端子を使用
し圧着します。(この時小型エンドキャップが抜けな
い様に注意して下さい。)



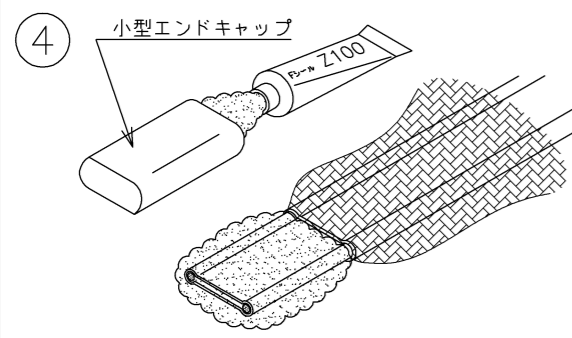
⑩ エンドキャップ部分をガラスクロス粘着テープでパイプに
しっかり止めて下さい。さらにFヒータがエンドキャ
ップからずれない様にFヒータもガラスクロス粘着テープで
止めます。



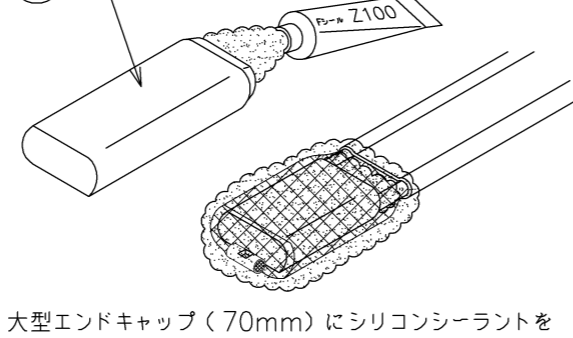
③ 35mm 30mm
端末から30mmのところをFヒータを切断します。
(編組は切断しないで下さい。)



⑦ 先端の裸圧着端子を折り曲げます。

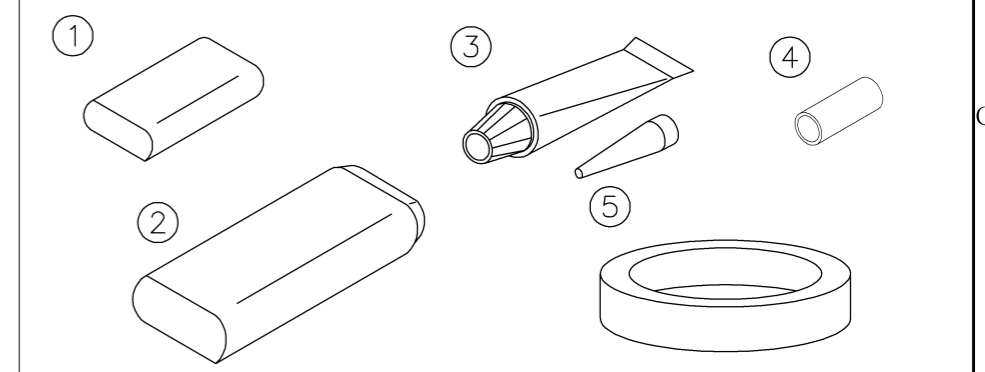


④ 小型エンドキャップ
小型エンドキャップ(35mm)にシリコンシーラントを
十分に充填します。また、Fヒータの端末部分にもシリ
コンシーラントを塗布します。



⑧ 大型エンドキャップ
大型エンドキャップ(70mm)にシリコンシーラントを
キャップ容量の半分充填します。また、小型エンドキャ
ップの部分にも気泡の入らない様シリコンシーラントを
塗布します。

NO.	品名	材質	数量	備考
1	小型エンドキャップ	シリコンゴム	1	35mm
2	大型エンドキャップ	シリコンゴム	1	70mm
3	シリコンシーラント		1	
4	裸圧着端子		1	P-8
5	ガラスクロス粘着テープ		1	



NO.	年月日	記事	設計	照査	承認
改訂					
客先					
名称 自己温度制御型Fヒータ 端末処理用キット 施工要領図 HE-1/SJ (SJタイプ)					
製	図		工事番号		
設	計		仕様書番号		
照	査		尺 度	NONE	
承	認				
図面番号					
0					
株式会社エイ・ケー・ケー					